

高知県感染症発生動向調査（週報）

2015年 第46週 （11月9日～11月15日）

★お知らせ

○百日咳に注意して！

定点医療機関当たりの報告数は第45週の0.00から第46週では0.10となっています。高知市、中央東で増加し、高知県全域では注意報値を超えています。病原体検出情報からは、*Bordetella pertussis*が1例検出されています。

患者の咳やくしゃみ、唾などのしぶきに含まれている百日咳菌を吸い込むことによって感染しますので、「咳エチケット」に心がけてください。また、乳幼児は予防接種を受けることで感染を防ぐことができます。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能ですので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く接種しておくことをお勧めします。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第45週の2.20から第46週では3.73と増加しています。幡多以外で増加しています。また、定点医療機関からのホット情報ではカンピロバクター感染症が6例、ノロウイルス胃腸炎が2例報告されています。

毎年この時期からノロウイルスなどの感染性胃腸炎の報告数が増えてきます。この病気は腹痛、嘔吐、下痢、発熱を主な症状とし、冬場に流行する代表的な感染症です。乳幼児に好発し、1歳以下の乳児は症状の進行が早いのが特徴です。37～38℃の発熱がみられることもあります。年長児では吐き気や腹痛がしばしばみられます。特にノロウイルスを原因とする場合、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。予防法で最も大切なのは手洗いです。排便後、また調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

第46週は基幹定点から6例、定点医療機関からのホット情報で14例、学校欠席者情報収集システムでは10件の報告がありました。病原体検出情報からは、*Mycoplasma pneumoniae*が1例検出されています。

マイコプラズマ肺炎の定点当たりの報告数が8月上旬から増えています。10月上旬からはホット情報でも報告数が増加していますので注意しましょう。

マイコプラズマ肺炎の発生動向とその予防対策

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマ(*Mycoplasma pneumoniae*)という細菌によって引き起こされ、激しい乾いた咳、発熱、全身倦怠感が主な症状で、学校、幼稚園、保育園、家庭等で地域的に集団発生すると言われています。好発年齢は、6～12歳の小児であり、小児では発生頻度の高い感染症の一つです。潜伏期は2～3週間とされ、飛沫で感染します。異型肺炎像を呈することが多いです。頑固な咳嗽と発熱を主症状に発病し、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を併発する症例も報告されています。重症肺炎となることもありますので注意が必要です。予防方法としては、手洗い・うがい・マスクの着用による一般的な予防方法の励行と早期の医療機関受診を心がけてください。

○マダニからの感染症に気を付けて！

日本紅斑熱2件、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)1件の届け出がありました。

これらの感染症はマダニが媒介する感染症です。

マダニの活動が盛んな時期は春から秋ですが、冬期でも患者の発生がみられることがあります。

感染予防にはマダニに噛まれないようにすることが重要です。

森林や草むら、藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、マダニ用の忌避剤を使用する等して、マダニに噛まれる事を予防して下さい。

マダニに噛まれた場合も痛みがなく気がつかない場合が多いといわれています。

マダニは、人や動物に取りつくとき皮膚にしっかりと口器を突き刺し、数日から10日間以上かけて吸血します。

吸血中のマダニを無理に引き抜こうとすると、マダニの体液が逆流したり、マダニの一部が皮膚内

に残って化膿する場合がありますので、医療機関を受診し、処置してもらってください。

発熱等がでたとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに刺されたこと）を申し出て下さい。

インフルエンザについて

これからの時期は、空気も乾燥し、ウイルスが活動しやすい時期となります。
第46週はインフルエンザ定点医療機関からインフルエンザA型の報告が1件ありました。
インフルエンザの予防にはワクチン接種の他、次の予防対策が有効です。

予防対策と注意事項

【かからないために】

- ① 予防接種を受けましょう。
- ② こまめに手洗いやうがいをしてください。
- ③ 出かけるときは、なるべく人ごみを避けましょう。
- ④ 十分な栄養と休養をとってください。

【人にうつさないようにするために】

- ① 「咳エチケット」を守ってください。
- ② インフルエンザが疑われる場合には、登校を控えるなど、外出はできるだけ控えましょう。

【医療機関を受診する時の注意点】

- ① 事前に電話をして、受診時間や受診に際しての注意事項を確認しましょう。
- ② 受診する際には、必ずマスクを着用しましょう。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減
46週（11月9日～11月15日）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		3.73	幡多以外で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.53	中央西、中央東で増加しています。
RSウイルス感染症		0.73	須崎、中央東、高知市、安芸で増加しています。
水痘		0.67	幡多、須崎、高知市で増加しています。
流行性耳下腺炎		0.43	高知市で増加しています。

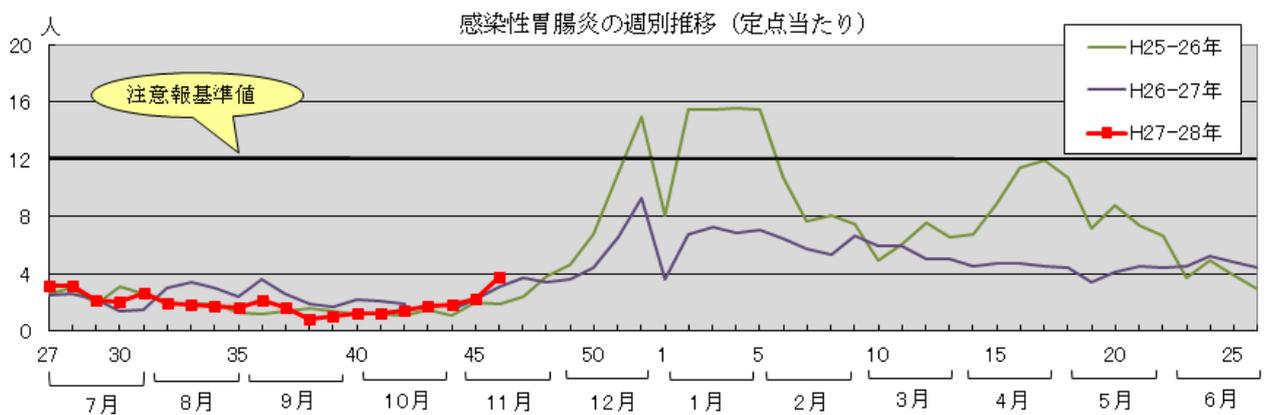
★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

○感染性胃腸炎：3.73（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.73（前週：2.20）と増加しています。地域別にみると中央東 5.86（前週 1.86）、中央西 4.00（前週 2.00）、高知市 3.27（前週 1.91）、安芸 2.50（前週 1.50）、須崎 2.50（前週 1.00）、で増加しています。



★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
46	インフルエンザ	41	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
46	マイコプラズマ	9	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
46	百日咳	4ヶ月	男	高知市	<i>Bordetella parapertussis</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
45	感染性胃腸炎	10ヶ月	男	幡多	Rotavirus group A G1

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	118	80歳代女	幡多
		1	119	70歳代男	高知市
4類	重症熱性血小板減少症候群	1	3	70歳代男	幡多
	日本紅斑熱	1	3	30歳代男	須崎
		1	4	70歳代女	安芸
5類	梅毒	1	8	70歳代男	中央西
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	3	30歳代女	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 1例 (1歳男)
中央東	あけぼの小児クリニック	マイコプラズマ感染症 1例 (11歳)
	おひさまこどもクリニック	百日咳 (PT-IgG101) 1例 (26歳)
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎 1例 (10歳男)
		マイコプラズマ肺炎 2例 (5歳男、10歳女)
		アデノウイルス扁桃炎 1例 (0歳女)
		カンピロバクター腸炎 4例 (7歳女、8歳女、17歳女、19歳女)
		カンピロバクター腸炎+病原性大腸菌 O-78 腸炎 1例 (3歳男)
	三愛病院小児科	カンピロバクター腸炎+病原性大腸菌 O-1 腸炎 1例 (1歳男)
	細木病院小児科	アデノウイルス 1例 (1歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	ノロ 1例 (1歳男)
高知医療センター小児科	伝染性紅斑 1例 (2歳女)	
中央西	石黒小児科	病原性大腸菌 1例 (2ヶ月男)
	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎 1例 (10歳女)
須崎	もりはた小児科	マイコプラズマ肺炎 1例 (10歳女)
		滲出性扁桃炎 (アデノウイルス) 1例 (2歳男)
幡多	さたけ小児科	マイコプラズマ肺炎 (LAMP陽性) 1例 (9歳女)
		マイコプラズマ肺炎 7例 (2歳女、3歳女、4歳女2人、8歳男2人、9歳女)
	渭南病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1例 (8歳男)

★全国情報

第44週 (10月26日～11月1日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核308例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症34例、腸チフス1例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎3例、コクシジオイデス症1例、つつが虫病6例、デング熱2例、日本紅斑熱4例、日本脳炎1例、レジオネラ症18例

5類感染症：アメーバ赤痢11例、ウイルス性肝炎3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症21例、急性脳炎4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、後天性免疫不全症候群14例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、侵襲性肺炎球菌感染症29例、水痘 (入院例に限る) 2例、梅毒42例、播種性クリプトコックス症1例、破傷風1例、薬剤耐性アシネトバクター感染症2例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、つつが虫病1例、日本紅斑熱2例、レプトスピラ症1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症16例、急性脳炎2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、水痘 (入院例に限る) 3例、薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

◆ 梅毒 2015年10月までの報告数増加と疫学的特徴

2015年10月28日時点で、2015年第1週から第43週（2014年12月29日～2015年10月25日）までに診断され、感染症法に基づく医師の届出による梅毒として報告された症例数は2,037例で、昨年同時期の1.5倍であった。性別は男性1,463例、女性574例でそれぞれ昨年同時期の1.4倍、2.0倍となり、女性の増加が顕著であった。

感染経路別では、男性は異性間性的接触が615例（昨年同時期比1.7倍）、同性間性的接触が487例（同1.0倍）の報告であった。また、女性の異性間性的接触は405例（同2.1倍）であった。

病型は早期顕症梅毒が、男性で990例（昨年同時期比1.6倍）、女性で323例（同2.4倍）とそれぞれ増加した。女性の年齢分布として15～35歳の全体に占める割合が約4分の3を超えた（437例：76%）。特に20～24歳が177例（同2.7倍）と全体に占める割合の最も高い年齢群であった。さらに、先天梅毒が既に10例（昨年同時期9例）報告されており、本疾患の発生動向を注視する必要がある。

以上を踏まえ、男性同性間性的接触による感染報告の増加傾向は2010～2013年にみられたが、本年は、男女の異性間性的接触による報告数増加の傾向が続いていると考えられた。

引き続き今後の梅毒の発生動向に注意しながら、特にリスクが高い集団に対する啓発活動が重要である。具体的には、不特定多数の人との性的接触はリスク因子であり、その際にコンドームを適切に使用しないことがリスクを高めること、オーラルセックスやアナルセックスでも感染すること、梅毒は終生免疫を得られず再感染することなどが啓発のポイントとして挙げられる。

感染が疑われる症状がみられた場合には、早期に医師の診断・治療を受けることが重要である。梅毒と診断した場合には、感染症法に基づく届出を行う必要がある。また、必要に応じた性行為パートナーに対する啓発、検査等を行うことが重要である。梅毒の感染経路、症状、治療、予防等に関しては、「梅毒に関するQ&A」を参照されたい。

(http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html)

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第46週 平成27年11月9日(月)～平成27年11月15日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第46週							計	前週	全国(45週)	高知県(46週末累計)		全国(45週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H26/12/29～H27/11/15				H26/12/29～H27/11/8		
インフルエンザ	インフルエンザ				1					1 (0.02)	8 (0.17)	650 (0.13)	15,345 (319.69)	1,153,755 (234.36)	
小児科	咽頭結核熱									()	2 (0.07)	1,088 (0.35)	142 (4.73)	58,869 (18.72)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	7	20	8	3	2	46 (1.53)	55 (1.83)	7,205 (2.29)	2,524 (84.13)	331,450 (105.39)			
	感染性胃腸炎	5	41	36	12	5	13	112 (3.73)	66 (2.20)	18,010 (5.72)	5,419 (180.63)	783,359 (249.08)			
	水痘			4			2	14 (0.67)	10 (0.33)	1,398 (0.44)	508 (16.93)	60,660 (19.29)			
	手足口病			1	1			2 (0.07)	10 (0.33)	1,652 (0.52)	2,495 (83.17)	376,326 (119.66)			
	伝染性紅斑		3	2				5 (0.17)	7 (0.23)	1,848 (0.59)	174 (5.80)	81,378 (25.88)			
	突発性発疹		2	5	2	1	1	11 (0.37)	13 (0.43)	1,560 (0.50)	592 (19.73)	74,004 (23.53)			
	百日咳		1	2				3 (0.10)	()	60 (0.02)	19 (0.63)	2,289 (0.73)			
	ヘルパンギーナ							1 (0.03)	2 (0.07)	185 (0.06)	959 (31.97)	97,133 (30.88)			
	流行性耳下腺炎		1	12				13 (0.43)	8 (0.27)	2,040 (0.65)	691 (23.03)	61,585 (19.58)			
RSウイルス感染症	1	6	8			2	5 (0.17)	15 (0.50)	4,717 (1.50)	997 (33.23)	70,288 (22.35)				
眼科	急性出血性結核炎							()	()	8 (0.01)	()	416 (0.61)			
	流行性角結核炎							()	()	525 (0.76)	14 (4.67)	20,671 (30.09)			
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	12 (0.03)	8 (1.00)	378 (0.79)			
	無菌性髄膜炎							()	()	19 (0.04)	14 (1.75)	917 (1.93)			
	マイコプラズマ肺炎			4				2 (0.07)	6 (0.75)	321 (0.68)	261 (32.63)	7,556 (15.87)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			2				2 (0.25)	1 (0.13)	4 (0.01)	47 (5.88)	325 (0.68)			
	感染性胃腸炎							()	10 (1.25)	33 (0.07)	80 (10.00)	4,085 (8.58)			
計(小児科定点当たり人数)	12 (6.00)	61 (8.72)	97 (8.23)	23 (7.67)	14 (7.00)	39 (7.40)	246 (7.92)			41,335	30,289 (803.67)	3,185,444			
前週(小児科定点当たり人数)	12 (6.00)	31 (4.42)	90 (7.12)	21 (6.72)	15 (7.25)	44 (7.40)		203 (6.43)							

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第46週							計	前週	全国(45週)	高知県(46週末累計)		全国(45週末累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H26/12/29～H27/11/15				H26/12/29～H27/11/8		
インフルエンザ	インフルエンザ				0.06					0.02	0.17	0.13	319.69	234.36	
小児科	咽頭結核熱										0.07	0.35	4.73	18.72	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.00	1.00	1.82	2.67	1.50	0.40	1.53	1.83	2.29	84.13	105.39			
	感染性胃腸炎	2.50	5.86	3.27	4.00	2.50	2.60	3.73	2.20	5.72	180.63	249.08			
	水痘			0.36			1.00	2.80	0.67	0.33	0.44	16.93	19.29		
	手足口病			0.09	0.33			0.07	0.33	0.52	83.17	119.66			
	伝染性紅斑		0.43	0.18				0.17	0.23	0.59	5.80	25.88			
	突発性発疹		0.29	0.45	0.67	0.50	0.20	0.37	0.43	0.50	19.73	23.53			
	百日咳		0.14	0.18				0.10		0.02	0.63	0.73			
	ヘルパンギーナ							0.10	0.07	0.06	31.97	30.88			
	流行性耳下腺炎		0.14	1.09				0.43	0.27	0.65	23.03	19.58			
RSウイルス感染症	0.50	0.86	0.73			1.00	1.00	0.73	0.50	1.50	33.23	22.35			
眼科	急性出血性結核炎									0.01		0.61			
	流行性角結核炎									0.76	4.67	30.09			
基幹	細菌性髄膜炎									0.03	1.00	0.79			
	無菌性髄膜炎									0.04	1.75	1.93			
	マイコプラズマ肺炎			0.80				2.00	0.75	0.75	0.68	32.63	15.87		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.40				0.25	0.13	0.01	5.88	0.68			
	感染性胃腸炎								1.25	0.07	10.00	8.58			
計(小児科定点当たり人数)	6.00	8.72	8.23	7.67	7.00	7.40	7.92				803.67				
前週(小児科定点当たり人数)	6.00	4.42	7.12	6.72	7.25	7.40		6.43							

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869